

災害発生時の心得 ～むやみに移動を開始せず、落ち着いた行動を～

大規模な災害が発生すると、公共交通機関が運行を停止し、帰宅が困難になることが予想されます。

災害発生直後に多くの人が一斉に帰宅を始めると、火災や建物からの落下物などにより負傷する恐れがあり危険であるほか、救助・救急活動の妨げとなることがあります。

【むやみに移動を開始しない】

- 身の安全を確保し、帰路の安全が確認されるまで職場や集客施設等の安全な場所にとどまろう。
- 災害用伝言サービスにより、家族の安否などを確かめよう。
- 交通情報や被害情報など正確な情報を入手しよう。

【日ごろから準備しておきたいこと】

- 家族などと安否確認の方法、集合場所、帰宅経路の状況を確認しておこう。
- 職場などに飲料水や食料、携帯ラジオ、地図、運動靴、懐中電灯などを用意しておこう。
- 帰宅経路のコンビニやガソリンスタンドなどの場所を確認しておこう。